



2012年3月28日

報道関係者各位

株式会社 SIM-Drive

先行開発車事業第3号は26社の参加機関を集めて始動

-スマート・トランスポーテーションの概念を取り入れた先行開発車を完成させます-

高い技術力とオープンソースの新しいビジネスモデルで電気自動車の普及を目的とする株式会社 SIM-Drive（本社：川崎市、社長：清水 浩）は、この度2011年9月11日より募集しておりました、先行開発車事業第3号（以下当事業）は多数の機関の賛同を得て、開始の運びとなりましたのでご報告申し上げます。

先行開発車事業は SIM-Drive の基幹技術であるインホイールモーター技術とコンポーネントビルトイン式フレームを存分に活かしながら新しい概念の車をゼロから開発する事業です。参加機関から1機関当たり2,000万円の参加費を頂き、この費用を元に電気自動車の先行開発車を、SIM-Drive との協働により約1年かけて試作いたします。開発拠点に各参加機関は常駐者を配置することができ、その常駐者が自由に使える机と椅子を設置します。これにより電気自動車の試作全てに渡って関わる事が可能です。最終的に参加機関には当事業の成果品である仕様書、基本図表、試験成績書が提供されます。

先行開発車事業第3号で試作する電気自動車の概要

当事業には、自動車関連企業に限らず住宅メーカー、電機、空調など様々な業種の26社にお集まりいただきました。参加の理由として、電気自動車が広く普及することを強く認識しておられる、多くの電気自動車の情報を他に手に入れられる所が他にない、インホイールモーター技術が他と比べて突出していることがあげられます。

当事業では、2015年頃に大量生産が可能になることを目指した電気自動車の先行開発車を試作致します。SIM-Drive の基幹技術やこれまで第1号、2号で開発された技術を存分に活かしながら、新しい概念の車を開発します。当事業の開発においても、1、2号車と同様、開発する車種と仕様を参加機関の合意のもとで決定していきます。また、参加機関からの要望や提供される部品等を取り入れながら、設計、試作試験を行います。

全参加機関の同意のもと、スマートハウス、スマートシティ、スマートグリッドと電気自動車を結ぶ概念をスマート・トランスポーテーションと呼ぶことにしました。当3号事業におきましては2号事業まで行っていた先行開発の試作に加えて、スマート・トランスポーテーションの概念を創り、これを実現するためのハードウェア、ソフトウェアの開発に取り組みます。

車両のコンセプトは「ハイパフォーマンス」としました。ハイパフォーマンスとは素晴らしい動力性能を持ちながら、居住性、乗り心地に加えて、エネルギーのスマート利用を実現します。当事業ではこの方向性を基盤に参加機関の技術や知見を頂きながら、2013年3月の完成を目指します。

先行開発車事業第3号参加機関一覧

株式会社アルゴグラフィックス
宇部興産株式会社
NTN 株式会社
株式会社三五
GMB株式会社
株式会社ジャストオートリーシング
住友重機械工業株式会社
スタンレー電気株式会社
積水ハウス株式会社
ダイキン工業株式会社
大同工業株式会社
ディーエスエムジャパンエンジニアリングプラスチックス株式会社
株式会社デンソー
東京エレクトロン デバイス株式会社
中川特殊鋼株式会社
日本特殊陶業株式会社
日本発条株式会社
橋本総業株式会社
平田機工株式会社
株式会社フジクラ
三井不動産株式会社
三菱電機株式会社
横浜ゴム株式会社
株式会社 リチウムエナジー ジャパン
株式会社レニアス

五十音順 敬称略

以上の参加機関に加え、非公開企業 1 社を含めた合計参加機関は 26 社となっております。

本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社 SIM-Drive 広報担当：浅生（アサオ）雄太
e-Mail: contact@sim-drive.com TEL:044-201-1014